

教材教具名 お使い依頼セット	教科 (算数)	
----------------	-----------	--

教材教具写真



お使い依頼用封筒



お使い依頼文書

教材教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

- 1 ねらい 計算することを、日常生活の中で使えるようにする。
- 2 発達段階など 簡単な足し算引き算ができたり、電卓ができる。
- 3 使い方
 - ①親が買い物させたい物を、依頼文書に「〇〇を買ってきて、〇〇円入れてます。」と書いて封筒にお金と財布を入れて登校させる。
 - ②算数の授業の最後に依頼封筒を開け、担任と一緒に児童は依頼文を読み、お使いの内容を把握する。
 - ③買い物に行く。
 - ④お店で、依頼された物を探し（時には店員に尋ねさせる）、レジで商品とお金を渡しお釣りとレシートをもらう。
 - ⑤学校に帰り、「持っていたお金－レシートの値段＝お釣り」を電卓で計算して、お釣りの金額を確認させる。
 - ⑥依頼文書にもその式を書き、お釣りを財布に入れ、封筒・財布一式を持って帰る。
 - ⑦家できちんとお使ってきたことを親に褒めてもらう。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等（次に利用する方のために）

机の上の計算練習や、買い物ごっこだけではなく、実際に買い物に行けることで、意欲的であった。そして、お使いた物を親に渡し褒めてもらえるというのは自信にもなり良かったようだ。また、商品を探したり店員にある場所を教えてもらったりと、算数以外の学習にも役立った。

今回紹介した以外にも、この逆バージョンとして、教員が買ってきて欲しいものを児童に手紙とお金を渡して、土日に親と一緒に買い物に行くときに買ってきてもらうということもした。これも依頼した教員から感謝され児童は喜んでいた。